

BIRO フレンズ教本

【歴史と基本情報】

BIRO は 2009 年よりイタリア、ヴェネチア、エストリマ社より製造されており、日本では 2017 年 4 月 26 日より大阪に初出店した。

イタリア本国では 2 人乗りで許可されているが、ここ日本では法律の関係もあり、ミニカー登録となることから 2018 年現在 1 人乗りとなっている。

価格についてはイタリアからの直接輸入によりおよそ 160 万円(バッテリーを含むサマーモデル)と設定、これはイタリア本国よりも 1 から 2 割安い価格設定となっている。

日本での購入方法は業界初ホームページ上のオンライン見積りシミュレーションにて、内容確認後そのまま注文できる方式を採用している。

【名称の由来】

BIRO という名前は、人と荷物を運ぶために使われた Biroccino (ビロッチーノ) というイタリアの非常に古い車両から生まれたものである。

Biroccino は生活に欠かせない、移動手段であり、様々な荷物を運ぶ手段のひとつとして、生活のためにとても大切なものであった。

BIRO はまさしくコンパクトで日常の人々の生活に寄り添ったコンピューターとしてその語

BIRO JAPAN

源にあやかっただったのである。

【安全性】

BIRO は見た目とは違い安全性も考慮されている。

BIRO を製造するイタリアのエストリマ社の親会社はトラックのキャビンなどの製造も手がけており、そのノウハウを以って、メインフレームには高剛性のスチールチューブを採用、フロント、リアやルーフには強化ガラスを用い、ドアの素材には拳銃で撃っても貫通せず、ハンマーで叩いても破壊されないポリカーボネートを採用して高い安全性を確保している。

さらにボンネットなどには FRP、シートには合皮を採用し、軽量化、快適性なども考慮している。

BIRO は都市部などの市街の舗装路やイタリアの石畳での走行を想定されて設計されており、未舗装の道路や平坦でない悪路での走行は想定していない。

【カラー】

BIRO はお洒落で車体色は標準 3 色、オプションにて 99 色から選択でき、個性の主張が可能となっている。

ドアのポリカーボネートは変色にも強く、長期間お洒落な雰囲気で行き可能。

BIRO JAPAN

小型でありながらもガラスやドアには普通の自動車と同じパッキンを採用しており、雨漏れの心配もない。

BIRO 専用ボディカバーの用意は無い為、少し大きいが軽自動車用での対応となる。しかしせっかくのお洒落なデザインを保管時に隠してしまうのは残念だとも考えられる。

【メンテナンス】

メンテナンスについては簡単な構造であることから、メンテナンス情報の提供によって近隣の整備工場での点検が可能となっている。

長期間の使用に堪えるため、バッテリーなどは交換ももちろん可能である。

タイヤ、ワイパーなどの消耗品については、サイズや形状にもよるが、通常市販品にて取替が可能である。

普通のガソリン自動車とは違い電気自動車は部品点数も少なく、故障はとても少ない。

充電切れに関してはバッテリー脱着式であればバッテリー取り外しにて充電、搭載型であっても車両重量が比較的軽い BIRO は一名程度の救助がいれば押しての移動も可能となっている。

BIRO はタイヤの空気圧が低下することにより、バッテリーの消耗が大きくなり、航続距離

BIRO JAPAN

も低下してしまうのでタイヤの空気圧などはこまめな確認が必要である。

【ドライブと施錠・解錠】

「BIRO はカードキーを採用しており、車両左前方にカードリーダーが配置されている。

カードキーをカードリーダーへ近づけることにより青色ランプは点滅したままカードリーダー差し込み部分が緑色に点灯する。

点灯状態になったところでカードキーをカードリーダーへガラス越しに接触させることでランプが青色から緑色の点灯に切り替わる。

同時にビープと1回鳴る。この状態を維持し、左ウィンカーが1回点滅すると同時にビープと再度鳴ると運転席ドアロックが解錠される。

このときスモールランプが点灯するので目視で解錠が確認できる。

車内に乗り込み、カードリーダーへカードキーを挿入し、ディスプレイがバッテリー残量表に切り替わると BIRO の走行が可能となる。

降車するときは、カードリーダーからカードキーを抜き、左側運転席側のドアを閉めるだけでオートドアロックによりドアがロックされる。

カードリーダーからカードキーを抜くと、左ウィンカーが2回点滅する。

右側ドアは外側からのアナログキーを使用した手動ロックのみとなる。

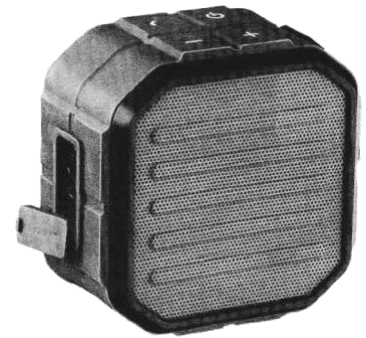
BIRO JAPAN

【各種操作スイッチ】

BIRO のヘッドライトやワイパーについては、普通の自動車と同じように操作が可能となっているが、イタリア製であることからウィンカーレバーなどは左側に配置されている。

【Bluetooth スピーカー】

BIRO は快適装備の為にポータブル Bluetooth が装着されているが使用はとても簡単である。



スピーカーについているボタンは電源ボタン、通話ボタン、曲お

くりボタン(+)、曲戻りボタン(-)の4つのみ。操作は電源ボタン長押しにより電源 ON。スピーカーのランプが、赤色と青色の点滅を繰り返し接続可能な機器を自動で探し始める。

スマートフォンなどの接続可能機器が見つかった場合、スマートフォンの Bluetooth 設定画面では MUSCLE と表示され、これとの通信を許可することで音楽などの再生が可能となる。

音量調節はスマートフォンなどの通信機器側でおこなう。

音楽再生中に電話が掛かってきた場合はスマートフォン側の機能で、音楽が一時停止され呼び出し音に切り替わるなどし、通話ボタンを押すことにより通話も可能であり、通話終了後は再び音楽の再生に戻って楽しめる。

BIRO JAPAN

このように BIRO は電気自動車でありながらもさまざまな快適装備を備えており、その操作もすべてが簡単におこなえるようになっている。

【登録と法規】

ミニカー登録になり、ヘルメットやシートベルトの着用義務はない。車庫証明は不要で車検、重量税、取得税も必要無い。必要な経費は毎年の自動車税の 3,700 円(2018 年 11 月現在)である。ミニカー登録である為、基本的にナンバープレートは青色ナンバープレートである。

なお、ミニカー登録には不要のハザードランプや室内バックミラーは装備されていない。

路上走行については法定速度 60km/h 以下の公道は走行が可能（2018 年 11 月現在）である。

高速道路についてはミニカー登録であることから走行不可であり、注意が必要である。

二人乗りについては現在の道路交通法（2017 年 12 月現在）によるミニカー登録では不可能であるが、データによると自動車への乗車は 85%が一人乗車であるとの結果も出ていることから、一人乗りであってもコンピューターの必要性が説かれ始めている。

BIRO JAPAN

なお、本国イタリアでは二人乗りであるため、そのパワーなどについては十分な余裕があるものとなっている。

【保険や減税等】

保険についてはすでに別の自動車などの任意保険への加入があれば、ファミリーバイク特約でカバーされる。

なお、残念ながらエコカー減税や補助金の対象とはなっていない。

【免許と駐車】

免許は普通免許で運転が可能。駐車は公共の場所ではバイクスペースでも可能な場合もあるが、基本的には共用のパーキングの利用となり、マンションなどは管理会社にもよるので確認は必要となる。なお、車庫証明は不要である。

【BIRO のモデル】

BIRO にはドア無しタイプの BIRO サマーとドアありの BIRO ウィンター、荷室が広めの BIRO Box、BIRO Big がある。ドアありモデルの場合、ドアは脱着式であることから、ドアを外しても使用することができるが、BIRO サマーはドアのみを別途購入し、後で取り付け

BIRO JAPAN

ることはできない。

その他の違いは BIRO ウィンターにはフロントガラスデフロスターや BIRO ロゴ入り折りたたみ傘、ポータブル Bluetooth スピーカーが標準採用されている。

エアコンなどは不採用となっているが、イタリアらしく暑ければドアを取り外し、ルーフやリアガラスオープンにより走行風を取り入れることで快適な走行が可能である。

【ウィンドウとドア】

BIRO ウィンターの左右ドアの取り外しは、3ステップでとても簡単であり、かつ軽量であることから女性でも簡単に取り外すことが可能となっている。

リアウィンドウ、上部ウィンドウはレバーを引くことによってチルト開閉が可能である。

【収納】

BIRO は収納についても考えられており、座席背もたれの後ろの中に収納の機能を有している。

背もたれは手前に引きだし、下から持ち上げるようにすれば誰でも簡単に開くことが出来る。

固定式バッテリーの場合は、最後部にさらに外から開閉可能な収納スペースが確保される。

BIRO JAPAN

(バッテリー着脱式はこの部分にバッテリーが収納されている)

オプション品については外付けタイプの収納 BOX がある。なお最大積載量は 30kg である。

【外装の保護】

新車の状態を長く維持できるように BIRO ジャパンではセラミックコーティングのオプションを設定している。

【BIRO のデザイン】

BIRO はイタリアで製造されている為、デザインもお洒落に仕上がっておりサイズも今までの常識にとらわれない大きさである。

全長 : 1740mm 全幅 : 1030mm 全高 : 1565mm 最低地上高は 190mm と普段の移動ではストレス無く使える仕様となっており、車両重量はバッテリー無し状態で 245kg。

シート位置調節、ハンドル位置調節はできない。

モーターはリアホイール内部に組み込むことで少しでも室内空間の確保につとめている。

【BIRO のバッテリー】

バッテリーについては車両搭載型と取り外し可能型との 2 タイプが設定されており、共に高性能なリチウムイオンバッテリーを採用している。

BIRO JAPAN

バッテリーの大きな違いは重量、容量、充電時間、走行距離、そして充電方法。

- ・バッテリー重量は固定式約 60kg、脱着式約 26kg
- ・バッテリー容量は固定式 111A/h、脱着式 74A/h
- ・充電については家庭用 100V のコンセントでの充電が可能で、用意されている充電用のコードの長さは約 2メートルであるが、コンセントが離れていても一般市販の延長コードでの対応が可能となっている。
- ・充電時間は固定式で 3～6 時間、脱着式で 2～4 時間
- ・1 回の充電で固定式は約 100km、脱着式は約 55km 走行可能

電気代は計算上 1km あたり約 1.5 円。

定格出力 : 0.59kw 最大出力 : 4kw

バッテリー脱着式は女性でも片手で脱着可能なほど簡単で、キャリーケースの様にハンドルと車輪が付いているので持ち運びも容易であり、取り外して持ち運び後、バッテリー単体での充電も可能なところが大きなメリットである。

【走行】

BIRO JAPAN

走行については

- ・ 亀マークの低速モード MAX スピード約 25km/h
- ・ 通常走行モード MAX スピード約 45km/h
- ・ 後退モード

の 3 モードが基本となるが、急な坂道やパワーが特に必要とされる場合にプラス α として BOOST モードが搭載されており、20 秒間パワーアップしての走行が可能となっている。

(BOOST モードはバッテリー残量が 20%を下回っているときや気温が非常に低い時及び高い時にはバッテリー保護の為に使用できなくなっている。)

【安全装備】

ブレーキについては全輪ディスクブレーキを採用、通常の車と同じようにサイドブレーキも採用されている。

ヘッドライトは小さくても普通の自動車と同じ物を使用し明るさを確保している。

【購入時の支払方法】

BIRO 購入時の支払い方法について、現金振込み、カード払いもしくはローンとなっている。

ローンについては月々の負担を少なくするため最長 180 回払いも可能となっている。

また納車は成約から約 5 ヶ月先になることから、ローンの支払い開始月を通常は翌月のとこ

BIRO JAPAN

る最長6ヶ月遅らせることが可能である。

金利は2.9%、ただし支払い開始月を1ヶ月遅らせる毎に0.4%の金利が上乘せされる。

2018/1/8 版

BIRO JAPAN